

「オールマイティ 1年生」事業の創設について

◎基本的な考え方

小学校に入学すると、子どもたちの世界観は圧倒的に広がり、社会や身の回りのことに対する知的好奇心や探究心も高まってくる。

このような芽生えの時期を迎えた小学1年生の「学び」や「やる気」「気づき」を育てる一助として、小学1年生を対象に佐久市内のファミリー型の体験学習施設を中心に文化施設や観光交流施設等を、年間を通して無償で利用できる「オールマイティパス」を創設する。

本制度は、佐久市内の居住者に限るものではなく、全ての小学1年生に無償サービスを提供しようとするもので、子育て支援施策の充実を図るとともに、このような佐久市の取組みを広く発信することで、交流人口の創出に繋げようとするものである。

1. 対象者

全ての小学1年生。この場合、居住地が佐久市の内外であることを問わない。
ただし、保護者同伴による施設利用を条件とする。

2. 無償によるサービス提供の方法

オールマイティパスを提示することにより、その児童に限り無償によるサービスを提供することを基本とするが、対象外のサービスや別途条件設定が必要となるものについては、基本的な考え方を別に定める。（例えば、宿泊時の食事代。）

3. オールマイティパスの交付方法

▽市内の小学1年生に対しては、小学校を通して交付する。
▽市外の小学1年生に対しては、申請（E-mail等による電子申請、郵送、主要施設窓口等）に基づき交付する。

4. 想定される利用対象施設

- ▽体験学習施設 （子ども未来館、昆虫体験学習館、うすだスタードーム）
- ▽文化施設 （近代美術館、旧中込学校、川村吾蔵記念館、鎌倉彫記念館、天来記念館、望月歴史民俗資料館）
- ▽体育施設 （駒場公園プール）
- ▽観光交流施設 （もちづき荘、ゆざわ荘、山荘あらふね、穂の香乃湯、布施温泉）

※上記施設と一体的に利用を推奨する無料施設

（カブトムシドーム、市民交流ひろば、五郎兵衛記念館、コスモタワー〔稲荷山公園内〕、SL〔成知公園内〕等）

5. 実施時期

関連予算を平成26年度当初予算に計上し、平成26年7月（夏休み前）を目途に準備を進める。